

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ  
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

Cortex Data Lake リージョン名変更に伴い Commit が失敗する問題について

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださり誠にありがとうございます。この度、Palo Alto Networks 社より Cortex Data Lake リージョン名変更に伴い Commit が失敗する事例がアナウンスされましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

Cortex Data Lake リージョンのサポート数が増加したことに伴い、2021年1月25日よりリージョン名が変更されております。この変更の影響により PAN-OS 10.0.0 または 10.0.1 をご利用の機器にて Commit が失敗する問題が発生いたします。

※Cortex Data Lake、Device Telemetry データの既存ログは影響を受けません。

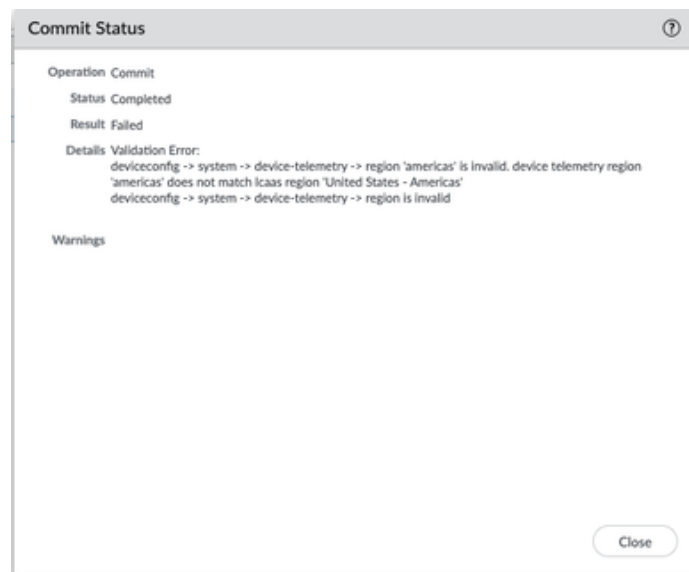


図1 Commit 失敗時の参考画像

2. 対象のお客様

下記全てに当てはまるお客様が対象となります。

- ① PAN-OS 10.0.0 または 10.0.1 をご利用されている。
- ② Cortex Data Lake をご利用されている。
- ③ Device Telemetry を有効化されている。

### 3. 対応方法

下記いずれかの方法で対応することが可能です。

A) PAN-OS 10.0.2 以降にバージョンアップする。

B) Device Telemetry のリージョンを再設定する。

WebUI [Device / Panorama タブ > Setup > Telemetry > Telemetry Settings]

上記設定箇所にて、Cortex Data Lake の Region と一致するように Region を再度選択して Commit してください。

※Panorama の場合「Apply this telemetry setting to all existing Template Stacks」にチェックを入れてください。

※本作業を実施後に PAN-OS 10.0.2 以降にバージョンアップを行った場合、本現象が再度発生しますので、改めて本作業を実施いただくようお願いいたします。

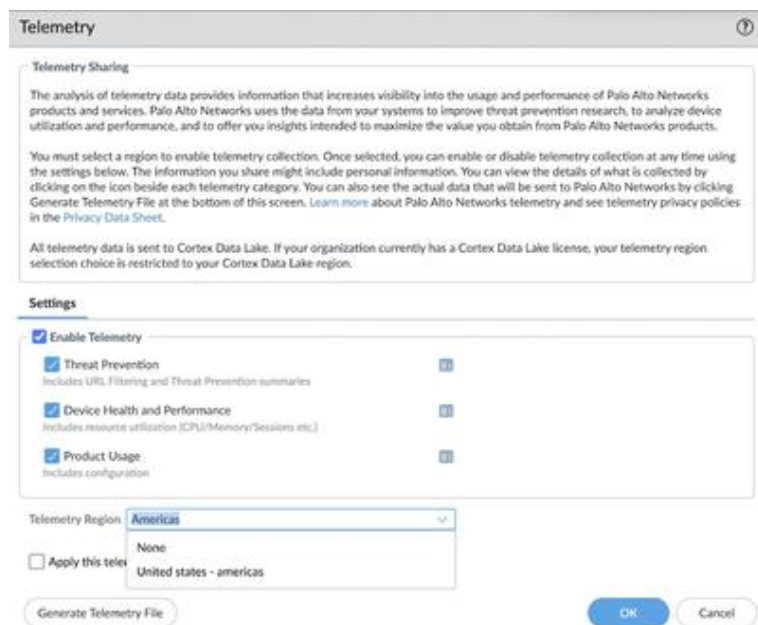


図2 Region 設定箇所の参考画像

以上